

平成27年度
第1回徳島市総合教育会議

議事録

日 時	平成28年1月29日（金） 午後3時00分～午後3時45分		
場 所	徳島市役所 8階 庁議室		
出席者	職 名	氏 名	
	市 長	原 秀樹	
	教育委員会	委員長	佐藤 文子
		委員長職務代理者	濱野 正裕
		委 員	中村 久子
		委 員	湊 暁美
委 員（教育長）	石井 博		

1 開会

(企画政策局次長)

ただ今から、第1回徳島市総合教育会議を開催させていただきます。

2 出席者の紹介

(企画政策局次長)

今回は第1回目の会議でございますので、出席者の方々をご紹介いたします。

－ 出席者の紹介 －

3 徳島市長あいさつ

(企画政策局次長)

それでは、開会にあたりまして、原市長からごあいさつを申し上げます。

(原市長)

今日は大変お忙しい中、第1回徳島市総合教育会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。また、平素より教育委員の皆さま方におかれましては、市の教育行政に多大なるご支援を賜りまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げたいと思います。

ご承知のとおり、去年の4月1日に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行われまして、地方公共団体の長が総合教育会議を設置するということになりました。

今会議の設置の趣旨は、首長と教育委員の皆さんが円滑に意思の疎通を図って、市における教育の課題や目指すべき姿を共有して、同じ方向性で連携しながら、より一層、民意を反映した効果的な教育行政を推進していこうというものでございます。

現在、喫緊の課題でございます少子高齢化問題など、大変難しい問題を抱えている中、教育委員の皆さまと連携を図り、知恵を出し合いながら、人口減少社会に即応した実効的な施策を展開することで、将来像であります「心おどる水都とくしま」の実現に向けた、将来を担う子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと思っております。

今日の会議は、市の教育に関する大綱の策定などにつきまして、教育委員の皆さまとご協議をいたしまして、共通認識のもと進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。冒頭開会にあたってのごあいさつとさせていただきます。

す。どうぞよろしく願いいたします。

4 教育委員長あいさつ

(企画政策局次長)

続きまして、佐藤教育委員長からごあいさつをお願いいたします。

(佐藤教育委員長)

失礼いたします。教育委員会を代表して、一言ごあいさつを申し上げます。

昨年4月、新教育委員会制度がスタートいたしました。そして、本日、総合教育会議が開かれて、市長さんのお考えやご意見をお伺いできますとともに、私どもの意見を聞いてくださる機会を得ましたことを、大変嬉しく思っております。

昨年、アメリカで、15年後の2030年に、今ある仕事の中で65%の仕事が無くなるであろうという驚くべき報告がなされました。実際にどれだけの割合の仕事が無くなるかは定かではございませんが、大きく変わるということだけは事実だろうと思っております。そのような変化の激しい時代を生き抜く子どもたちのために、いかにして資質や能力を育成し、それを培っていけばいいのか、私どもに大きな課題を突きつけられたような気がいたしております。その解決に向かっていくためには、学校・保護者の力だけでは、とてもおよぶものではございません。地域のお力をお借りして、また社会全体で子どもたちを育てていくことが、私たちに課せられた課題のような気がいたします。

この徳島市でも、市長さんのお力添えをいただきながら、私ども教育委員会も精一杯前に進んでまいりたいと思っておりますので、今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

本日の総合教育会議が、実り多いものになりますことを心からお祈りいたしまして、簡単ではございますが、私のごあいさつとさせていただきます。

5 要綱等の説明

(企画政策局次長)

ありがとうございました。続きまして、議事に移らせていただきます前に、徳島市総合教育会議の設置要綱につきまして、事務局からご説明をさせていただきます。

(企画政策課長)

— 資料1及び資料2を用いて説明 —

6 議事

(企画政策局次長)

それでは、これより議事に移らせていただきますが、進行につきましては、当会議設置要綱第4条第1項の規定によりまして、原市長に議長をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

(原市長)

それでは、早速、議事に入らせていただきます。

今日の議事としては、「徳島市教育大綱について」でございます。まず、事務局から説明をお願いします。

(教育委員会総務課長)

－ 資料3及び資料4を用いて説明 －

(原市長)

ただいま事務局の方から、「徳島市の教育大綱(案)」について説明がございました。この「徳島市の教育大綱(案)」は、昨年策定いたしました教育振興基本計画に掲げております、教育の基本理念や基本目標及び、基本方針などを抜粋して、別途策定したものでございます。

これにつきまして、ご意見・ご質疑等ございましたらお願いいたします。

(佐藤教育委員長)

この案による教育大綱と徳島市教育振興基本計画(第2期)を2つセットとして、総合的に取り組んでいくということで良いのではないかと思います。

(原市長)

他に特にご意見・ご質疑がないようでしたら、徳島市の教育大綱につきましては、ただ今事務局がお示した案で決定してよろしいでしょうか。

－ 異議なし －

それでは、徳島市の教育大綱につきましては、この案をもって決定させていただきたいと思っております。

7 報告事項・その他

(原市長)

今日の議事としては、以上ですけれども、続きまして、事務局から報告事項がありますので、よろしく願いいたします。

(教育研究所長)

－ 教育研究所における主な事業について資料5を用いて説明 －

(青少年育成補導センター所長)

－ 青少年育成補導センターにおける主な事業について資料6を用いて説明 －

(原市長)

報告事項もございましたが、今日は総合教育会議の場ということで、これからは、ご自由にご発言いただきたいと思えます。

それでは、私の方から、何点かお話をさせていただきたいと思えます。

先ほども、青少年育成補導センターからご報告がありましたけれども、やはり、いじめは少なくなったとはいえ、まだこれだけの数があり、また、スマートフォンの依存についても、今、社会問題となっています。これらについては、もちろん学校の相談窓口等も必要ですけれども、何よりも学校と家庭との信頼関係を構築することが一番ではないかと思えます。いじめ問題は、いわゆる情報化社会の中で対処していくには、なかなか大変だと思えますが、地道な努力をしていくしかないと思えます。そのためにも、学校・教職員の皆さまと子どもたち、それに家庭との信頼関係、つまり、何でも相談していただけるような関係があれば、いじめは減ってくるのではないかと思うので、言うは易し行うは難しですけれども、ぜひ、取り組んでいただきたいと思えます。

それからもう1点、今年の参議院選から選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられることで、若者の政治参加が見込まれる一方、消費税に関連する話題がよく取り上げられているように、税金の使い道を決めることは、政治の根幹をなすものであると思えます。

このことから、将来を担う子どもたちがまだ小さいうちから税金の仕組みや使い道について考えてもらうような租税教育を行っていただければ、税金についての関心を持ってもらえるとともに、税金のあり方や使い道についての判断力がつくと思われるので、ぜひ、取り組んでいただきたいと思えます。

それと、これは先の12月の議会でも言いましたが、エアコンの整備をできるだけ早急に進めていただけるよう努力していただきたいと思えます。

私が、今、教育行政について感じていることはこのようなことです。では、委員の皆さま方も何からでも構いませんのでご発言ください。

(濱野教育委員長職務代理者)

租税教育については、徳島法人会の青年部が小学校を地道に回って活動しています。

(原市長)

青年部が全国大会に出ていたのを見たことがあります。

(濱野教育委員長職務代理者)

全国大会でその活動が表彰されたように、地道に活動をしています。

(石井教育長)

先ほど、市長さんがおっしゃっていただいたように、税金の使い道や税の仕組みを小中学生に教えていくことは、非常に大事ではないかということで、全ての市町村の教育委員会が、租税教育に対応できるような組織を整える意味合いから、県と市町村の教育委員会が連携して、徳島県租税教育推進協議会という組織をつくっております。そこで、積極的に小中学校で税の教育をしていこうという働きかけをしております。学校の先生が授業の中で、資料を使って租税のことについて教えたり、また、公益社団法人徳島法人会の方や税務署の方に、租税教室という名目で、それぞれの学校に出向いて授業をしていただいております。去年の実績で言うと、市内31全ての小学校で租税教室が実施されております。一方、中学校は9校ということで、まだ全中学校で実施されていないことから、校長会等で実施をお願いしているところでございます。

(原市長)

消費税に関して言えば、子どもたちも直接の納税者となっています。このような活動をすることで、子どもたちも、税金について関心を持ってくれるかもしれません。

(佐藤教育委員長)

毎年、夏休みの課題でも、税金に関する作文などが出ていますね。

(石井教育長)

小学生が書いた税に関する作文の中で優秀なものを集めて作文集を作り、全ての学校に配っております。毎年配付しております。今年の作文集は第18号になります。

また、例年、夏休みを中心に、親子のタックスセミナーを実施しております。これは、親子で参加していただくような形のもので、バスをチャーターして、須磨水族館のような税金でつくった施設を見学するとともに、往復のバスの中で税に関するクイズを出したりして、税の仕組みなどについて普及・啓発する取組でございます。

なお、エアコンの状況については、事務局から現状の報告をお願いします。

(教育委員会総務課長)

エアコンの整備につきましては、以前から研究していく必要があるとのことで、平成

27年度につきましても、年度当初から工事内容や費用などについて色々調査を行ってまいりました。

現在までの考え方の中の1つに導入方法がございます。まずは直接施工するような方法、それとPFIを用いた方式、さらにはリースという形もございます。それぞれの方法には、メリット、デメリットがございますので、そういった状況を比較対照しながら、本市にとって、どの方法を導入することが効果的かつ効率的なエアコンの整備に繋がるかについて検討している最中でございます。

また、導入につきましても、幼・小・中一斉に導入することは、正直難しいところがございます。そこで、導入の順序につきましても、各方面より色々ご意見等をいただきながら、検討しているところでございます。

なお、四国の県都市につきまして、高松市がエアコン設置率100%であり、直接施工で工事を行っております。また、新聞で知ったのですが、松山市がこのたび、PFI方式を用いてエアコン整備を進めるということでございます。

このように、近場に色々な方法によりエアコンを設置している県庁所在都市がございますので、早速、来週あたりに視察に行きまして、整備する上での色々な課題点等、インターネットだけではなかなか情報収集できない部分などを聞いてまいりたいと思っております。

8 閉会

(原市長)

それでは、以上をもちまして、第1回徳島市総合教育会議を終了いたします。
本日は、皆さん、大変ありがとうございました。